

**区政会議におけるご意見
～主に【安全安心まちづくり】に関するご意見～**

年月 令和7年5月

番号	委員の意見	区長が講じた措置
1	<p>【地域活動の財政支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会には補助金が出るが、町会ごとのイベントに区役所からの補助金があれば、多少なりとも地域活動への参加者を増やす呼び水になるのではないか。 ・地域活動協議会への補助金は前年度実績に対して100%という状況であり、減ることはあっても増えることはない。そのため、補助金を各町会に分配するのは難しい。実際にかかった経費分だけでも補助金を増やしてもらえない、新たな事業を行うことができない。 ・町会に加入すれば、回覧板や行事を通じて横のつながりができるが、加入してしない人が多いため、年末のごみ収集や防災訓練についての情報が届かない。また、見守り活動や防犯パトロール、炊き出しなどもボランティアでしているが、赤字が続き町会費が減少している。この状況を考慮し、支援を考えてほしい。 	<p>現在、平野区役所からは、おおむね小学校区を範囲として地域団体など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まっている地域活動協議会に対して、自律的な地域運営の促進を目的に地域活動協議会補助金を交付することとしており、町会ごとのイベントや事業に対する個別補助金制度はありません。</p> <p>来年度の地域活動協議会補助金に関しては、物価が大幅に上昇しているため、予算を増やさなければ事業の継続・新規の事業展開が難しいという状況は理解しております。このような状況を踏まえ令和8年度地域活動協議会補助金予算を検討したいと考えております。</p> <p>町会加入促進については昨年度に「町会加入促進アクションプラン」を策定したところです。「町会加入促進アクションプラン」に基づき、新築のマンションをはじめ集合住宅の加入促進に向け販売元との協議や地域活動の広報の強化などを進めてまいります。</p>
2	<p>【町会運営について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ人が長期間会長を務めてきた地域では、負担分散のために会長を抽選で決める地域も出てきたが、お金の管理が苦手な人が会長になる可能性もあり、町会の運営において懸念されるため、町会運営に関するガイドラインの作成について検討してほしい。 	<p>町会の運営に関しては、それぞれの町会の運営方針があるため、統一的なガイドラインを作成することは難しいと考えます。しかし、様々なご相談に対しては、まちづくりセンターにおいて、自治会・町内会単位の活動について助言を行い、積極的な支援を行うこととしています。</p>
3	<p>【ゴミ問題と路上喫煙について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民には外国人も多くコミュニケーションが難しいため、区役所がゴミ出しのマナーを守るためのパンフレットを作成したり、マンションの持ち主、大家さんや不動産屋に指導をしたりなどはできないのか。 ・5、6軒集まって1箇所にごみを出しているところでは東南環境事業センターから無料で網をもらえるが、それをマンションでできないか。 ・現在市内全域が禁煙となっているが、朝の喫煙マナーが悪く、駅周辺も臭いがきつい。吸い殻が落ちているとまた他のゴミが集まってくるかもしれない、この辺りを何とかしてほしい。 ・市内全域で路上喫煙が禁止されてからも、喫煙マナーの改善が感じられない。喫煙所で吸うことを守れないのであればごみを出さなければ立ち止まって吸ってよいとすればいいと考えている。いかに捨てさせないかという方向付けは一つの選択肢だと思う。 	<p>環境局ではごみのマナーについて、英語、中国語、韓国語のチラシも作成しており、外国人の方々にも周知を行っているところです。</p> <p>マンションでもゴミ置き場がなかったり、大阪市から路上までゴミ出しを依頼されている場合は、からすネットの無償貸出をしております。※マンションのオーナーや管理者は代表者にはなれません。詳細については東南環境事業センターに確認が必要です。</p> <p>環境局では、喫煙者と非喫煙者が共存できる分煙環境の整備を進めており、現在、大阪市内で喫煙可能な場所として「大阪市指定喫煙所」と「情報提供喫煙所」をホームページに掲載し、周知、活用を呼びかけています。</p> <p>また、「たばこ市民マナー向上エリア制度」として、地域の市民・事業者の皆様が主体となり、自主的に路上喫煙の防止活動に取り組んでいただき、その活動に大阪市が支援や協働することにより、地域社会におけるマナー意識を高め、安心、安全で快適なまちづくりを進める全国初の取組を行っています。</p>
4	<p>【防災意識の向上について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの方などは小学校や中学校に行き防災訓練をしているが、区民全体として知識や災害の備え、発生後の行動についての区民全体の意識を高めるのがもっと必要だと思う。 	<p>区民まつりなど多くの区民の方が参加される行事等での啓発活動、広報紙や区のホームページなどを活用した啓発活動など、区民の皆様の防災意識の向上を意識した活動に心がけております。区民の皆様の防災意識の向上に引き続き取り組んでまいります。</p>

**区政会議におけるご意見
～主に【安全安心まちづくり】に関するご意見～**

年月 令和7年5月

番号	委員の意見	区長が講じた措置
5	<p>【こども110番について】</p> <p>・こども110番の旗は出かけたときにしまうのか、それともかけたままにするのか。抑止力でかけておくのはいいが、インターホンを鳴らしても人がいなければ困るし、しまってしまうと留守なことが分かってしまうと思った。警察に協力してもらい警察官見回り地域のようなシールを作つてみるのもよいと考えている。</p>	<p>こども110番の家は、地域の協力家庭（商店・事務所等も含む）に、玄関先など分かりやすい場所へ目印となる旗等を掲げていただくことにより、こどもたちが大人に助けを求めやすい環境を作ろうとしているものです。お申し出のとおり不在のこともあるとは思いますが、地域にこども110番の家があることで、防犯カメラや青パト同様に、犯罪抑止効果も期待できます。安全安心なまちづくりに、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。</p>
6	<p>【青パトのスピーカーについて】</p> <p>・青パトは9時からしかスピーカーが使えないことになっているが、子どもの通学時間はもっと早いのでそのことを考えてほしい。</p>	<p>スピーカーの使用につきましては、大阪府の条例により午前9時からの使用となっております。通学時間帯での、青色回転灯を装備した自動車でのパトロール活動につきましては、こどもたちへの見守りだけでなく、地域の犯罪抑止のためにも必要な活動です。青色回転灯を活用するなど引き続きのパトロールにご理解ご協力をよろしくお願いします。</p>
7	<p>【民泊について】</p> <p>・行政で民泊がどの程度あるのかについては把握しているのか。一時滞在の方で民泊となるとごみ問題もあると思う。</p>	<p>令和7年4月30日時点で特区民泊は6,194件、住宅宿泊事業は1,912件あります。健康局では、民泊をはじめる方に周辺住民や町会への挨拶、説明をすることを啓発したり、違法民泊通報窓口を開設しています。</p>

**区政会議におけるご意見
～主に【地域福祉】に関するご意見～**

年月 令和7年5月

番号	委員の意見	区長が講じた措置
8	<p>【地域活動の担い手不足について】</p> <p>・他県の市町村では、民生委員の改選に際して行政から情報提供を受けることで、担い手不足の解消に繋がっていると聞いた。個人情報もあるが、大阪市でも人材確保のために行政からの情報提供等の支援があると良いと思う。</p>	<p>福祉局に確認したところ、個人情報保護の観点から職員の情報を提供することは難しいですが、退職にあたっては大阪府・大阪市・堺市が合同で地域福祉貢献を目的に、民生委員児童委員を紹介し就任を促すなどの取組をしています。</p>

**区政会議におけるご意見
～主に【こども教育】に関するご意見～**

年月 令和7年5月

番号	委員の意見	区長が講じた措置
9	<p>【学校に行くのが楽しいと感じる生徒の割合について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大阪市教育振興基本計画」も参考にしつつ、「学校に行くのが楽しいと感じる生徒の割合」の目標を令和7年度末までに76%としているということだが、大阪市平均は80%を超えており、平野区の実績もすでに目標を超えており、より高い目標にすべきではないか。 学校に行くことが前提の質問になっているため、例えば試験前には楽しいと答える割合が低くなるのではないかと思う。むしろ、平野区での生活の中で楽しく感じる割合や、どんなところで楽しさを感じているのかを知ることができれば良いと思う。 こどもが中学3年生だったとき、「学校は面白くない」と言っていたが、私にはこどもが学校を楽しんでいるように見えていた。思春期特有の斜に構えた発言をすることがあるため、アンケートに全員が素直に書いているかどうかは疑わしく、楽しいと感じる割合が低くなるのも理解できると思う。 自分の住んでいる地域の小学校では、昨年までは学力テストやスポーツの成績を基に1年間の計画を立てていたが、今年の校長先生の取組は、結果の数値にとらわれず、生徒が楽しく学校に通えるようにすることや、先生自身も楽しく授業ができる環境づくりに焦点を当てている。 	<p>アウトカム指標の「学校に行くのは楽しいと感じる生徒の割合」の目標が76%以上であるのは、目標を設定した令和3年度の平野区の実績が70.2%であり、大阪市平均が75.2%であったため、「大阪市教育振興基本計画」も参考にしつつ、令和7年度末までの目標として76%以上とさせていただいております。</p> <p>令和8年度に向け新たな平野区将来ビジョンの策定を予定しており、アウトカム指標の内容や目標についても委員の皆様と意見交換をさせていただきながら設定してまいります。</p>
10	<p>【虐待に関する通告について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待やヤングケアラーの問題を抱える家庭も増えており、やはり、子どもの人生に関わることであり、次の将来ビジョンにもしっかり書いてほしい。 	<p>児童虐待の相談も増加傾向にあり、要保護児童数も依然として多く、対応の重要性がより一層増しています。子育て世帯のニーズにあった適切な支援と必要な情報がすぐに届くよう関係機関と連携して取組を続けることが必要です。</p> <p>令和8年度に向け新たな平野区将来ビジョンの策定を予定しており、アウトカム指標の内容や目標についても委員の皆様と意見交換をさせていただきながら設定してまいります。</p>